

# サイラムザとドセタキセルの治療を受けられる方へ


患者様用入院診療計画書

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 ( @PATIENTNAME ) 様

担当医師 ( )

担当看護師 ( )

病日経過	治療前	年月日 点滴日	2日目 /	3日目 /	4日目 /	5日目 /	6日目 /	7日目 /	8日目 /	9日目 /	10日目 /	11日目 /	12日目 /	13日目 /	14日目 /
達成目標	◆薬剤の説明を受けることができる	◆血圧が安定している ◆治療、副作用について理解できる ◆副作用が早期に発見できる ◆安全な点滴ができる	◆血圧が安定している ◆副作用が早期に発見できる		◆発熱がない ◆血圧が安定している ◆副作用が早期に発見できる ◆感染予防対策の必要性が理解できる			◆血圧が安定している ◆副作用が早期に発見できる ◆退院後の治療や注意事項が理解できる							
治療・薬剤		治療の前にお薬があります。デキサート30分、サイラムザ60分、ドセタキセル60分以上で点滴します。	治療後の内服は指示通り内服してください。					退院後について不安なことがあればいつでも相談してください。							
検査	・検査がある場合、前日に説明があります。	適宜検査が入ることがあります。						採血 レントゲン		採血 レントゲン			採血 レントゲン		
安静・活動	お薬が血管外に漏れないように点滴中は安静にしましょう。	特に制限はありません。													
栄養	特に制限はありません。ただし、治療食の指示がある方は、治療食になります。														
清潔	特に制限はありません。ただし、熱があるときには、入浴は控えましょう。														
排泄	特に制限はありません。														
教育指導説明	・治療前に薬剤師より薬の説明があります。	<p align="center"><b>☆治療による副作用</b></p> <p><b>白血球減少(特に好中球が下がります)</b> 白血球が下がると、感染しやすくなりますので、手洗い・うがいを心がけましょう。好中球減少にともなって熱が出ることもあります。</p> <p><b>血小板減少</b> 血小板が下がると、出血しやすくなって手足に赤い点やあざが出たり、鼻出血することがあります。</p> <p><b>血圧上昇</b> 高血圧は自覚症状が少ないため、定期的に血圧を測定することが大切です。降圧薬を使って血圧をコントロールすることもあります。強い頭痛や吐き気が出現したらすぐに知らせてください。</p> <p><b>口内炎</b> 口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。</p> <p><b>手足の浮腫</b> 手足がむくむことがあります。すぐにスタッフにお知らせください。また、歩きにくい際は転倒に気を付けてください。</p> <p><b>腹痛</b> 激しい腹痛や持続する腹痛がある場合は速やかにスタッフにお知らせください。下痢がある場合は水分補給を十分に行い、早めにお知らせください。整腸剤や下痢止めを使って対応します。</p> <p><b>食欲不振</b> 食欲低下や、吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。</p> <p><b>倦怠感</b> 疲れる、だるい、身体が重いといった症状が現れる事があります。無理せず体を十分に休め、体力を保つようにしましょう。</p> <p><b>脱毛</b> 髪だけでなく、まつげやまゆげをはじめ全身の体毛でも脱毛がみられることがあります。</p>													<p><b>《退院後について》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左の副作用については、退院された後も副作用チェックシートを活用しましょう。</li> <li>・退院後も口腔ケアを心がけましょう。</li> <li>・退院後も定期的に血圧を測定しましょう。</li> <li>・外出時はできるだけ人ごみを避け、マスクを装着しましょう。また、帰宅時は手洗い・うがいをし、感染予防に努めましょう。</li> <li>・副作用である尿たんぱくの有無の確認のため定期的に外来で尿検査を行います。</li> <li>・副作用症状がみられた場合や気になる症状が現れた時は、すぐに病院に連絡し、医師の指示を受けましょう。</li> <li>・退院後に手術や歯の治療を行う予定がある場合は医師へ相談しましょう。</li> <li>・次回外来受診について説明を行います。</li> </ul> <p>次回外来日： 月 日</p>
	・看護士より口腔ケアについて説明があります。	<p>* 上の表は副作用の出やすい時期の目安を表示しています。必ずこの通りになるとは限りません。矢印のないものは2週間後など出現時期の遅いものです。</p> <p>* それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。</p> <p>* 気になることがあれば、看護師か医師にお知らせください。</p>													
・副作用チェックシートを活用しましょう。看護師が確認を行います。	<p>* ドセタキセルは血管外に漏れると、炎症を起こしやすい薬剤です。点滴中に針が入っている部位が痛くなったり熱くなったらすぐにスタッフに知らせてください。</p> <p>* 点滴中、急に息苦しくなったり、胸が苦しくなったり、吐き気がするなど、少しでも気分が悪くなったら、我慢せずスタッフにすぐ知らせてください。</p> <p>* このお薬を服用中に風邪のような症状(息切れ、呼吸がしにくい、咳及び発熱等)が現れた時は、間質性肺炎の副作用が出現している可能性があります。早急に対処が必要ですので必ず看護師にお知らせください。</p>														
・疑問や不安な点がありましたら、スタッフにお伝え下さい。	